

## 調印式開催のお知らせ

### 「まちの保育園・こども園」と東京大学大学院教育学研究科 保育・教育・研究交流連携事業に関する協定締結

1. 調印日時： 平成30年2月4日（日）17：20～
2. 調印場所： 東京大学本郷キャンパス教育学部棟2階第1会議室（別紙参照）
3. 出席者：  
小玉 重夫（東京大学大学院教育学研究科長、  
大学院教育学研究科総合教育科学専攻基礎教育学コース教授）  
秋田喜代美（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター長、  
大学院教育学研究科学校教育高度化専攻教職開発コース教授）  
野澤 祥子（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授）  
松本理寿輝（ナチュラルスマイルジャパン株式会社代表取締役）

#### 4. 協定のポイント

- ◆ この度、東京大学大学院教育学研究科と、都内にて認可保育所・認定こども園「まちの保育園・まちのこども園」を運営するナチュラルスマイルジャパン株式会社は、『保育・教育・研究交流連携事業に関する協定』を締結することとなりました。
- ◆ 本協定により、両者は、保育・教育実践と研究の発展に、共同で取り組むこととなります。
- ◆ 「まちの保育園・まちのこども園」と、東京大学が協定を結ぶことで、未来の社会を担う子どもたちの育ちにとってどのような生活環境や養育、保育、教育が求められるのか、そのための専門家人材の育成や社会システムの構築、制度政策デザインのあり方を考える異分野協働・融合的研究の推進に寄与することが期待されます。

#### 5. 協定概要：

この度、東京大学大学院教育学研究科と、都内にて認可保育所・認定こども園「まちの保育園・こども園」を運営するナチュラルスマイルジャパン株式会社は、『保育・教育・研究交流連携事業に関する協定』を締結することとなりました。この協定は、子育てや保育・教育に関して様々な課題が存在する我が国において、保育・教育及び、子ども・子育てに関する環境全般の充実・発展のためを主として、**研究と実践が共にあり、保育・教育や、学校及び保育所・幼稚園・認定こども園等が、社会・まちづくりにおいて新たな価値を創造していくことを目指し、保育・教育・研究交流を推進することを目的としています。**

#### 6. 協定内容：

##### ① 協定締結の背景

東京大学では、国立大学としてのこれまでの140年の歴史をふまえつつ、「東京大学ビジョン2020」として、新しい次の70年を、市民社会との協働による新たな価値創造に立脚した市民的公共性の担い手として自らの役割を再定義していく時代であるととらえ、「卓越性と多様性の相互連関」を基本理念として掲げています。

大学院教育学研究科では、我が国の次世代を担う子どもたちの育ちの場・環境を重視する立場から、養育・保育の質の保障と向上に関わる様々な課題の解決に向けて、統合的な研究を行う拠点として発達保育実践政策学センター（通称 Cedep）を設立し、その拡充に取り組んできました。この度、保育・教育の研究の発展とその担い手の育成や社会への発信に関する事業の一環として、新たに、「まちの保育園・こども園」と、保育・教育・研究交流連携事業に関する協定を締結することとなりました。

ナチュラルスマイルジャパンは、「ひとりひとりの存在そのものを喜び、互いに育みあうコミュニティを創造する」を理念に、地域資源を子どもたちの学びに活かすこと、園自体が地域資源となり、社会に貢献していくことを目指してきました。直近では都立代々木公園内に認定こども園「まちのこども園 代々木公園」を開園いたしました。各園に園と地域をつなぐ専任職員「コミュニティコーディネーター」を配置し、地域に開かれた場としてコミュニティスペースやカフェを併設する取り組みは、各所で同様の取り組みが広がりつつあります。保育・教育の質を高める「協創（共創）ネットワーク構想」を持っていた中で、この度、同じビジョンを持つ東京大学と共鳴し、協定を締結し、共同研究及び発信を行っていくこととなりました。

（参考）認定こども園「まちのこども園 代々木公園」



（参考）まちの保育園・こども園 地域に開かれたコミュニティスペース、カフェ



## ② 協定内容

東京大学大学院教育学研究科では、本協定で得られた共同の機会を最大限に活用して、発達保育実践政策学に携わる若手研究者の育成や、子育てや保育・教育に携わる様々な人々を対象とした研修の開発、保育の安全・安心に向けた最先端テクノロジーの応用、そしてそこで得られた知見の国内外への発信に取り組んでまいります。

「まちの保育園・こども園」は先述の「まちのこども園 代々木公園」に、国際的な幼児教育・保育の研究センター（通称 CCLC）を開設する予定で準備を進めております。本協

定で得られた知見を存分に活用し、保育・教育の実践者だけでなく、広く地域社会にも発信し、保育・乳幼児教育の質の向上に貢献していく所存です。

③ 社会的意義・今後の予定

本連携事業は、子育てや保育に関して様々な課題が存在する我が国において、先導的な役割を果たすことになるものと考えています。調印後は、「まちの保育園・こども園」における保育実践の高度化や、「まちのこども園 代々木公園」における保育・幼児教育に関する展示スペースの設置、教育学研究科を中心とした発達保育実践政策学に関わる統合的研究、子育て・保育に関わる専門職の職能開発の推進を共同で行うこととなります。

(別紙)

## 会場案内図



会場は「教育学部棟」になります。

教育学部棟 1階の正面玄関から建物内にお入りください。

案内の掲示をご覧いただき、2階の会場までお越しください。